

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年5月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677000111
法人名	社会福祉法人 福寿会
事業所名	グループホームるーぴんのさと<大崎>
所在地	鹿児島県曾於郡大崎町永吉6034番地 (電話) 099-471-7390
自己評価作成日	平成31年2月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年5月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・一日一日を楽しく過ごせるように外出に力を入れます。挨拶から始まるレクリエーションの充実を図り、利用者に笑って頂けるようつとめます。また、手作りの料理やおやつを提供し、ゆったりとした時間を過ごせるようにつとめます。利用者や家族と過ごした時間を写真に収めたポスターを作成し、園内に飾ります。当園は元気な職員が沢山おります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は母体の特別養護老人ホームを軸に各種介護福祉事業所を含む一つであり、地域からの要望が強くあつての2つ目のグループホームである。

・田園地帯に広い敷地を持ちウッドデッキを巡らせた各部屋の掃出し窓から自由に庭に出られ、自然の中で人間らしい暮らしができています。

・協力医療機関や特別養護老人ホーム看護師との24時間緊急対応体制があり、日常の健康管理や適切な医療を受けている。

・法人の行事や地域の行事に参加したり、事業所でも家族同伴の遠足や温泉旅行に出かけたりして、家族関係を密に外出も楽しんでいる。

・法人での研修会が多く、職員の資格取得にも力を入れ質の向上を目指している。

・職員の社員旅行や忘年会を開催し親交を深めている。職員の意見で制服の改善など積極的に取り入れている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼の際に理念を読み上げている。	法人の理念とともに、昨年まで年度末に目標を含めた理念を作成していたが、今年度からホーム独自の理念を作成し、玄関やフロアに掲示し、朝礼で唱和している。職員会議でも振り返り実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	近所に地域の子供会などがあり、交流がある。あくまき配りなどを通じて地域の方々と交流し、情報交換を行っている。	法人の桜祭りや秋祭りは、出店があり地域住民も参加している。地域交流の場としてサロンを開き、認知症サポーター養成講座を行っている。小学生の慰問もあり地域の交流は盛んで、ホームが発信源となっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域サロンをグループホームで開く。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では、行政や地域住民、家族と情報交換を行っている。</p>	<p>定期的に開催し、現状報告や取り組みを伝え、地域情報をもらい、災害などテーマを決めて話し合っている。熱中症や台風対策等、意見や提案が多く出され有意義な会になっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議、地域のケアマネ研修会に参加している。</p>	<p>運営推進会議に参加をしてもらい、電話や窓口に行って話し合い情報を共有している。地域のケアマネ研修会にも参加して協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を通じ、勉強会を行っている。現在、身体拘束は行っていない。</p>	<p>法人で月1回身体拘束廃止委員会があり参加している。職員会議でも勉強し、言葉の拘束や玄関の施錠を含め事例検討で共通理解を深めている。利用者の不安や混乱を取り除くケア対策にも取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束及び虐待防止委員会で勉強する機会を設けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>委員会を通じて学ぶようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に説明を行い、何かあればその後相談するようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族と連絡を取って得た情報は、申し送りノートなどを使って職員で共有するようにしている。</p>	<p>利用者は自分の意見を気軽に話すことができる。家族は面会時や行事、家族が参加する大掃除や忘年会、昨年は内之浦の国民宿舎に旅行、今年は吾平の悠々ランドへ出かけ気兼ねなく話せる機会を多く作っており、意見を運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	部署会議などで意見を取り入れている。	職員会議や部署会議で職員は意見や提案を出し、要望の出たDVDのレコーダー購入や仕事着の色やポケットを付けるなど、具体的に意見を取り上げている。管理者が個々の相談も受けてアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課を行い、一時金を支給するなど評価体制を整えている。また、まとまった休暇を取れるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修や勉強会を開いて参加するようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修や勉強の場で会ったら交流している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>自己紹介の場を設け、利用者の今までの生活歴を訊いたりして、情報を得ている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用者ごとに担当制をとっており、利用者本人や家族の話を訊いて介護計画を考えている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前の面談や他事業所の情報をもとに計画している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は利用者に対し一方的な介助にならないように関係づくりを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>担当者は、利用者に必要なモノを調べ家族に持って来てもらうように促すなどの支援を行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>行きつけのお店や知り合いなど情報を生かして外出などを行っている。</p>	<p>入所時にアセスメントを行い、家族からも情報をもらい、馴染みの床屋に行ったり、家族の協力で墓参りや自宅訪問・法事やお盆に帰ったりしている。友人たちと昔話をして喜ばれている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士がお菓子やお茶を配りあっている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院時には面会を行い、別施設へ入所された方には面会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の話、または家族にこれまでの経歴やこれからの生活への願いを訊いてアセスメントを行っている。	開設当時の職員が多く、利用者とのかかわりも長く把握できていることが多い。行動に変化があり、思いを把握することが困難になる場合は、職員や家族で話し合い、本人が望む暮らしを支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族に話を訊いたり、関係機関から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常から本人や他の利用者との関わりなどを観察している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者ごとの担当を設け、得られた情報をもとに会議で話し合い、介護計画に反映している。	担当者会議で主治医の意見を入れて話し合い、それに合わせて家族も参加し、現状にあったプランを作成している。モニタリングは3ヶ月に1回、見直しは6ヶ月または状態変化のあるとき、その都度計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	健康チェック表や排泄チェック表を用いて情報共有記録ノートを作っている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	職員の気づきや提案、家族からの要望を取り入れ、サービスの充実につとめている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	地域との関係を模索しているが、まだできていない。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	何かあれば主治医の往診で対応している。	地域に医療機関が少なく、往診をしてもらえるかかりつけ医を希望している。訪問診療は2回、協力医療機関と特別養護老人ホームの看護師も24時間対応体制で支援している。他科受診は職員が同行して行い、適切な医療を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>特養の看護師や的場クリニックの看護師と連携を取っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先に訪問し、関係者と情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時やその後も家族と連絡し、入院や特養への入所なども含めた生活についての方針を話し合い、決定している。</p>	<p>入所時に重度化や終末期に向けたホームの方針を説明し、特別養護老人ホームについても説明している。段階的にその都度話し合い、かかりつけ医の意見も聞いて、家族の希望に沿って事業所でできる範囲の支援をしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>現状では不十分であり、研修や勉強会が必要である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>訓練を実施し、非常用の食糧の蓄えを備え、非常用電源を確保している。</p>	<p>法人で年2回、消防署立会いの昼夜想定消防訓練に参加している。自主訓練は毎月、計画に組み込んで行っている。近くに職員社宅がありそこからの応援や地域協力隊の体制もできている。消火器具については業者が定期的に点検し、発電機やスプリンクラー・緊急通報装置もある。備蓄は米・水・保存食等があり、カセットコンロもある。地域の災害受け入れ先にもなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人に合わせた声掛けの工夫や環境整備を行っている。	勉強会を行っている。一人ひとり個性があるので不快な思いをさせないように、声かけや羞恥心等に配慮した対応をしている。スピーチロックや名前の呼び方はさんづけ、書類等は人目に触れないように管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意思を尊重し、伝えられるよう援助している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員サイドにならないようにつとめているが、行事の際の入浴は行事優先になるなど出来ないこともある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	タンスの服を整理整頓し、本人の着たい物を着て頂く。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おせち料理やケーキなど好きな食べ物を訊いたりしている。	昼夜の副食は法人の配食である。おせち・ひな祭り・節分・クリスマス等の行事食やそば打ちを行っている。家族同行の遠足や敬老会・温泉旅行での外食が楽しみである。個々の能力に合わせて後片づけを一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の好みや負担など把握し、水分量をチェックしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯の状態を調べ、不具合があれば歯科に調整を頼んでいる。また、毎日お茶うがいを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中は出来るだけトイレ誘導を行う。夜間帯はポータブルトイレを使用する。	排泄チェック表を基にパターンを把握しトイレ排泄を支援している。排便にも気を付けている。夜間は転倒防止のため、ポータブルトイレを使用している場合もある。本人の意思で排泄できるように自立した利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳の提供水分量の確保、芋などの食物繊維の提供やお腹への刺激を入れて出来るだけ薬に頼らないようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴剤を使用し、のれんを出すなど雰囲気づくりを行っている。	本人の健康や希望に合わせて週2・3回の時がある。拒否の利用者にはタイミングを見たり脱衣場の暖房を強くしたり、のれんをかけて温泉の雰囲気を出す等、工夫している。入浴剤は好みの香りで使用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は覚醒時間を長くし、夜間は眠れるような生活スタイルを考えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方薬に関する情報をファイルしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>利用者が楽しんで参加できるようなレクリエーションを考え、生活リハビリを実施している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日中はウッドデッキの散歩、駅伝見物や花見などを行っている。家族と協力して一時帰宅などを支援していく。</p>	<p>日常的にはウッドデッキや庭に出て過ごしている。春秋の花見や家族参加の遠足・温泉旅行・地域のお釈迦祭り・精霊流しへの参加、家族の協力で墓参りや自宅訪問・外泊・外食と可能な限りの外出支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分でお金を持っている利用者があるが、お金を使う支援を行っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族から電話が掛かって来るが、本人とのやり取りはない。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の不快にならないように照明やソファの位置を考え、季節感を出すようにしている。</p>	<p>玄関ホールやリビングは広く、窓から緑豊かな自然が見える。ウッドデッキに自由に出入りができる。壁には行事写真や季節の飾り物があり、ソファにゆったりとくつろいでいる。トイレも多数あり大規模のトイレもある。冬は囲炉裏があり炬燵も出して豊かにのんびりと暮らしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者の不穏時には他の利用者とは席を離し、本人からの話を訊くなど行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が気持ちよく過ごせるように、思い出の品など昔から使っていたものをそのまま使えるようにしたり、部屋のレイアウトを考えたりしている。</p>	<p>洋室と和室があり、障子や掃出し窓になっている。洗面所・ベッド・エアコン・クローゼットはホームが設置している。入所前に自宅の暮らしを見せてもらいそれに近い居室を作るようにしている。テレビ・タンス・毛布・写真が飾ってあり個性的である。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレは安全かつ自立した行動が出来るよう環境作りを行う。お風呂は家庭的な雰囲気を残せるよう整備していく。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input checked="" type="radio"/>	3 たまに
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	2 少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
		<input type="radio"/>	4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない